

ホール建築におけるサービス空間の計画と運用

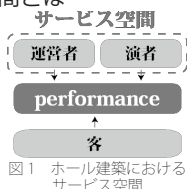
建設工学専攻
空間デザイン研究

ME15065 田中南帆
指導教員 前田英寿

序章

0-1 ホール建築におけるサービス空間とは

本研究では、搬入口や楽屋・リハーサル室などホール建築において運営者と演者が主に使用する空間をサービス空間と呼ぶ(図1)。



0-2 研究の背景と目的

ホール建築は、パフォーマンス空間や客空間に重きを置いて計画され、演者や運営者が使用するサービス空間は後回しにされる傾向がある。サービス空間は演者や運営者のパフォーマンスに大きく影響を与える重要な要素である。演者や運営者にとって使いやすいホール建築はどのようなものか考え、サービス空間のあり方をもう一度見直す必要がある。

本研究では、ホール建築における楽屋や搬出入口など演者や運営者が使用するサービス空間について建築計画・空間構成に着目し、使用・運用の実態を把握してサービス空間のあり方、計画的な考え方を明らかにすることを目的とする。

0-3 研究の方法と構成

序章では本研究における用語や研究対象を定める。第1章では研究対象全数について諸元や図面からホールとサービス空間の類型化を行う。第2章では訪問可能な8箇所にヒアリング調査を行って利用や運用の実態を把握する。第3章でその詳細図化を行って都市・街区・敷地・建築の各レベルで分析する。第4章では第2章でヒアリングを行ったホールについて評価・考察を行う。末尾に各ホールの諸データや図面をまとめたデータシートを添付する。

0-4 研究対象

日本音響家協会によって劇場技術者からみた使いやすいホールとして定められた「優良ホール100選」を研究対象とする。優良ホール100選の全78箇所のうち図面が入手できた62箇所のホールについてデータシートを作成し、8箇所のホールにヒアリング調査を行った。[表1]の調査欄に○のあるものはデータシートを作成するものであり、◎のものはさらにヒアリングも行った。

表1 優良ホール100選

ホール名	調査	ホール名	調査
1 清河町総合文化会館		40 富山県高岡文化ホール	◎
2 旭川市大雪が里スタルホール	○	41 津軽町文化会館「シダナス」	◎
3 だて歴史の森・カルチャーセンター	○	42 コスモアイル羽咋	◎
4 札幌市教育文化会館	◎	43 ニュー世紀美術館「シアター21」	◎
5 朝日町サンライズホール	○	44 阿南文化情報交流会館「アートピア香江」	◎
6 札幌市コンサートホール・KITARA	◎	45 びくく文化会館	◎
7 札幌市コンサートホール・KITARA	◎	46 福井市民会館	◎
8 北広島市芸術文化ホール・花ホール	◎	47 春日井市民会館	◎
9 札幌市市民会館・ゆめホール	◎	48 名古屋市民会館	◎
10 札幌市生涯学習会館センター「ちえりあ」	◎	49 長久手町文化の家	◎
11 南砺市市民会館	◎	50 岐阜市民会館	◎
12 中野田パルコホール	◎	51 大塚市民会館	◎
13 白河市文化センター	◎	52 長良川国際会議場	◎
14 那須野が原ハーモニーホール	◎	53 びわ湖ホール	◎
15 栃木県総合文化センター	◎	54 国立京劇国際会館	◎
16 秋の国さいたま芸術劇場	◎	55 さんぽMUSIC「演劇リバープレイス」	◎
17 埼玉会館	◎	56 アークホールフリースペース	◎
18 松戸市民劇場	◎	57 吹田市文化会館「メイシアター」	◎
19 千葉県文化会館	◎	58 フェスティバルホール	◎
20 千葉県東総文化会館	◎	59 八尾市文化会館「プリズムホール」	◎
21 府中の森芸術劇場	◎	60 目黒市民文化会館「コスモシアター」	◎
22 東京芸術劇場大ホール	◎	61 阿南市民センター	◎
23 世田谷パブリックシアター	◎	62 地味大ホール	◎
24 中野パブリックホール	◎	63 まと都心ホール	◎
25 紀尾井ホール	◎	64 さんぽ国際芸術ホール	◎
26 津田ホール	◎	65 兵庫県立尼崎青少年創造劇場「ピッコロシアター」	◎
27 渋谷公会堂	◎	66 花巻市総合文化センター「アルカイックホール」	◎
28 かみあかりリリオホール	◎	67 神戸国際会館「くさいホール」	◎
29 橋元リリオ	◎	68 加古川ワルネスパーク「アタマズホール」	◎
30 富士市文化会館ロゼシアター	◎	69 山口情報芸術センター	◎
31 横濱市文化センター	◎	70 福岡市民会館	◎
32 まつもと市民芸術館	◎	71 茨城県文化会館	◎
33 新潟市民芸術文化会館「リョウとびあ」	◎	72 九重文化センター	◎
34 黒部国際文化センター	◎	73 熊本県立劇場	◎
35 富山県立会館	◎	74 鹿児島県立国際音楽ホール	◎
36 人妻コスモホール	◎	75 宮崎県立芸術劇場	◎
37 新川文化ホール	◎	76 都城市フェリス交流プラザ	◎
38 富山県芸術文化ホール「オーパードホール」	◎	77 北九州芸術劇場	◎
39 富山県教育文化会館	◎	78 沖縄市民小劇場「あしひな」	◎

1章 全数分析

図面が入手できた62箇所のホールについて諸元、配置図、諸室を色分けした平断面図をデータシートにまとめた(図2)。

1-1 諸元の傾向

全78箇所の開館年、駅からの距離、主ホール座席数、延床面積、ホール数、建物階数、主ホール舞台階、管理運営者、受賞歴を整理した。

1-2 空間構成の分類

図面からホールの向き(方位)、楽屋の位置、ホワイエの位置、用途の単体・複合について分類を行った。

1-3 ホールとサービス空間の位置関係

1-2で楽屋の位置について①舞台の裏、②舞台・客席の横、③舞台の裏+舞台・客席の横、④ホワイエ・客席の下、⑤ホワイエの下+舞台の裏に類型化した(図3)。各種型の理由や利点を建築、敷地、都市の視点から考察した。

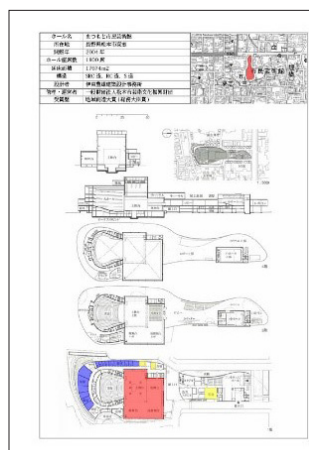


図2 まつもと市民芸術館 データシート例

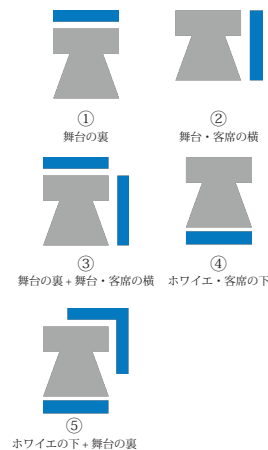


図3 楽屋の位置の分類

2章 ケーススタディ

優良ホール100選のうち首都圏(東京、埼玉、千葉)に位置するホールにサービス空間の視察及びヒアリングを依頼し、8箇所を訪問調査した(括弧内は年月日)。

2-1 世田谷パブリックシアター (2016年10月24日)

世田谷パブリックシアターは2つの劇場がそれぞれ違う棟に入っている。劇団と技術者がともに舞台をつくる運営を行っており、主催や共催の演目が多く貸館の割合が少ない。劇場もサービス空間もコンパクトで、大道具なども地下駐車場から搬入しEVで上げる。駐車場は演者・客共用である。

2-2 紀尾井ホール (2016年10月26日)

紀尾井ホールは2つの音楽ホールが積層している。小ホールは邦楽用ホールなので楽屋が和室である。客のEVの需要が増え、管理者の更衣室をEVホールに改修し、2つのホールでEVを利用できるよう変更した。駐車場から客席に向かうEVがなく、車椅子利用者は駐車場からサービス空間を経由して客席へ向かう。リハーサル室がなく、リハーサルは大部屋の楽屋が舞台で行う。

2-3 千葉県文化会館 (2016年11月5日)

千葉県文化会館は2つの多目的ホールからなる。千葉城跡公園内の広い敷地にゆったり建つ。別館の結婚式場が会議室に用途変更され、本館の会議室を練習室に変更し、サービス空間が充実した。ホワイエは広いがバリアフリー化が追いつかず、管理者がサービス介助士の資格を取得して補助している。

2-4 東京芸術劇場 (2016年11月14日)

東京芸術劇場は音楽ホールと3つの劇場が積層している。4つのホールの搬入口が共用なので搬入時間が重なりと不便である。音楽ホールの楽屋は全て舞台と同じ階にあり、廊下も広く中庭があって居心地、使い勝手ともに良い。指揮者やソリストの楽屋はインテリアのコーディネーターにまでこだわっている。

2-5 千葉県東総文化会館 (2016年11月17日)

千葉県東総文化会館は2つの多目的ホールがある。駅からは遠く徒歩の来館者は不便ではあるが広い敷地を利用して、サービス空間がワンフロアに収められている。サービス空間の廊下は突き当たりの窓や天窗によって明るい。舞台の周りに倉庫がなく、側舞台にひな壇など備品が置かれている。

2-6 府中の森芸術劇場 (2016年11月18日)

府中の森芸術劇場は多目的ホールと音楽ホールと日本舞踊のホールの3つが平面に配置されている。ホールの裏を演者用駐車場が囲い、全てのホールが搬入口から直接舞台へと搬入できる。改修工事に伴い、楽屋を増築した。それでも楽屋が足りない場合は会議室を代用するが、その際は客動線を使用して舞台に向かう。

2-7 松戸市民劇場 (2016年11月22日)

松戸市民劇場は駅前幹線道路沿いの多目的ホールである。建物は小規模であり、専用の搬入口はない。改修工事の際にピロティを小さくして楽屋と会議室を増やした。楽屋が足りない際には会議室を代用する。多目的ホールではあるが舞台が狭く、下手の側舞台がないことから演目が限られる。

2-8 彩の国さいたま芸術劇場 (2016年11月28日)

彩の国さいたま芸術劇場は2つの劇場と音楽ホール、映像ホールの4つのホールが平面に配置され真ん中を情報プラザが繋いでいる。大劇場はホワイエと客席の下に楽屋がある。稽古場も多くあるが自主公演での使用が多く、一般への大稽古場の貸出は少ない。



写真1 ヒアリング及び視察

3章 図化

ヒアリング調査を行った8箇所のホテルについて都市、街区、敷地、断面の各スケールを図化した(図4)。都市の中でどのような位置にホールがあるか、周辺の建物や道路とどのような関係にあるかを把握する。敷地と断面によって建物配置や動線計画、空間構成を把握する。

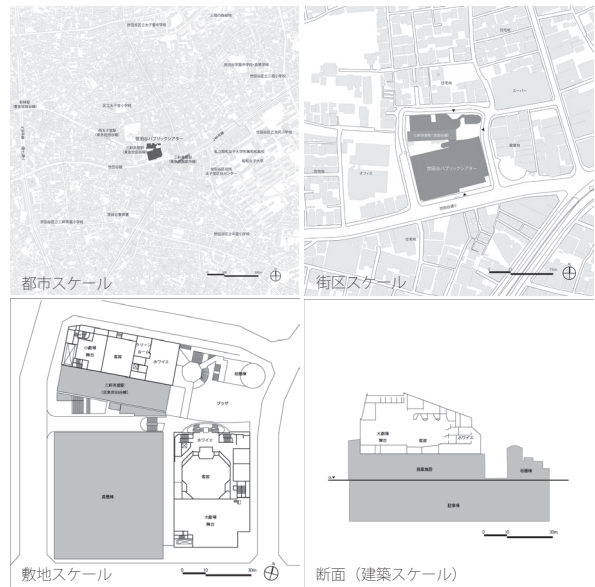


図4 図化例(世田谷パブリックシアター)

4章 評価・考察

ヒアリング調査と図化から[表2]の項目について評価を行い、サービス空間のあり方を考察した。

表2 評価例(千葉県東総文化会館)

		評価項目	コメント	評価
街区	土地利用	住宅がまばらに建ち、田畑が広がっている	△	△
	駅からのアクセス	駅からの徒歩の距離が長い	△	△
	幹線道路	千葉県道35号(環状線)に面している	◎	◎
	敷地	敷地の500m先で35号線は千葉県道104号(八日市場井野地線)と交わる	◎	◎
	主要施設	近くに図書館があり、600m以内には3つの小学校がある	◎	◎
敷地	隣接条件	敷地には図書館があり、敷地の200m先に市役所がある	◎	◎
	隣接道路幅員	周辺に住宅地で専段が敷設されている	◎	◎
	入り口の位置	3面(12m, 8m, 4m)	○	○
	敷地内空地	駅行車も車も55号線(幅員12m道路)から入る	○	○
	駐車場	演者用は南側の駐車場に建物から入る	◎	◎
客	敷地内配置計画	客は北側の広場を通過してアプローチする	◎	◎
	入り口	北側に大規模な広場があり、東側の公園に繋がる	◎	◎
	ロビー	隣接する県立図書館と共用の駐車場(図書館付)に400台分ある	◎	◎
	ホワイエ	その他3台分の主要客用・職員用駐車場が全館の裏と西にある	◎	◎
	バリアフリー	小ホールと大ホールとの移行はエレベーターを配置してローで繋ぐような平面	◎	◎
演者	楽屋の広さ	広場や駐車場を置くことで図書館側を開放的にしている	◎	◎
	楽屋の窓	広場を通過して建物の中心にあるメインエントランスから入る	◎	◎
	楽屋の音	他の出入口は非常時以外は基本的に閉鎖されている	○	○
	楽屋の照明	11m×20mの2つのホール共用のロビーがある	△	△
	楽屋からの動線	小ホールは4m程度の広い通路のような空間が楽屋を取り囲んでいる	◎	◎
搬入	搬入口	大ホールは下階側に12m×14mの空間と階段で上がって10m×12mの空間と客席後ろに4mの通路がある	◎	◎
	搬入用EV	大ホールには楽屋が5室と大部屋が2室	◎	◎
	舞台までの動線	小ホールには楽屋が1室と中部屋が2室	◎	◎
		楽屋に楽屋には窓が大きいので、大部屋は明るい窓がある	◎	◎
		脚・階段の幅	1.5m以上	◎
		楽屋から舞台までの動線	大ホールは楽屋前が2m程度	◎
		搬入口	楽屋より早く楽屋が並ぶため、廊下を通過してすぐに舞台に行ける	◎
		搬入用EV	トラックの荷台と床がフラットになっている	◎
		舞台までの動線	なく(不要のため)	-
			直接舞台に搬入できるようになっている	◎

結章 総括と展望

本研究を通してホール建築のサービス空間について下記が明確になった。

- ・搬入、動線、バリアフリーなどサービス空間の不完全点を運営者や演者が補っている。
- ・駅から遠いホールの方が、敷地が広くサービス空間が充実する傾向にある。
- ・駐車場の十分な確保及び客・演者用の分離ができていないホールは少ない。できているものは搬入も円滑である。
- ・サービス空間への要求は演目により異なるが、要求が反映されているホールは少ない。
- ・楽屋や舞台倉庫などサービス空間の空間量の確保を課題とするホールが多くある。

今後のホールの計画において、利用や運営に適したサービス空間が設けられることを期待する。

*参考文献: 優良ホール100選HP, 各ホールHP, 新建築